

開催地名：大阪市住吉区	
開催日時	令和4年11月12日（土） 10：20 ～ 11：50
開催場所	錦秀会住吉区民センター
語り部	太田 千尋 （宮城県仙台市）
参加者	大阪市職員 67名
開催経緯	<p>本市では、南海トラフ巨大地震による被害や直下型地震として上町断層地震等が想定されており、大阪市住吉区では毎年11月に、住吉区総合防災訓練（区的全職員、地域役員や地域住民も参加し全避難所開設・運営訓練）を行っている。訓練では、様々な想定をして訓練を行っているところであるが、実際の災害を経験していないことから実感に乏しい部分がある。</p>
内容	<p>（1）3.11 東日本大震災</p> <p>私は震災発生当時、仙台市消防局に勤務しており、この悲惨な情景を目の当たりにした。地震のエネルギーを表す単位であるマグニチュードは9.0と、日本最大の地震で、東北沖の東西150キロメートル、南北350キロメートルの広い範囲の海底が震源だった。東日本大震災以前の最大の地震は、関東大震災のマグニチュード7.9と記録されている。マグニチュードが1増えると、地震のエネルギーは約32倍になることから、この地震がいかに大規模なものだったかがわかるはずだ。地震の揺れは仙台では6分程度続いた。発災時、私は消防局の執務室にいたが、職員は落ち着いていた。仙台市民の多くも、「やっぱり来たか」というような反応であったという。これは、ある程度この地震を想定していたということであり、そのための準備もしていたということである。津波による被害は想定を超えるものであったが、死者のほとんどが津波によるもので、地震そのものによる死者はほとんどいなかったことは、事前の備えがある程度できていたことの証明であると思う。</p> <p>（2）避難所での経験</p> <p>避難所には、発災後すぐに大勢の方々が身を寄せる。仙台市では、避難所の運営は、その地区の自治会長たちで作った避難所の運営委員会で行っており、そしてその運営委員会の中で、分野別に班を構成し、住民主体の役割分担をしていた。東日本大震災の際は、これらの運営委員会が速やかに避難所を開設したところは上手く機能したが、運営が軌道に乗るまで時間を要したところもあった。</p> <p>避難所には元気な住民から避難してくるため、体力のない高齢者や、ケアが必要な住民が避難して来る頃には、トイレに行きやすく、暖房がよく効いて温かい、生活環境の良いスペースは空いていない。このあたりについては配慮が必要になると思われるので、各避難所でご対応いただきたい。また、着替えをする場所がなかったり、女性用の物干し場がないことから下着が干せなかったり、生理用品やおむつ、粉ミルクの不足や配布方法に不手際が発生するなど、様々な問題が発生した。これらは、自主防災組織の中に女性リーダーが配置されていれば改善されるケースが多いので、今後の防災対策においては女性の視点を取り入れること、女性の参画等を推進することが極めて重要だ。</p>

	<p>その他、居住者と旅行者を含め、多くの外国人が滞在している自治体では、避難所に外国語のサイン等も必要になると思われるので、予め想定しておく必要があるし、東日本大震災後の避難所生活に伴い、東北地方では窃盗団も多く発生した事実がある。仙台市でも見受けられたので、自治体関係者は心づもりが必要である。避難所で避難生活をしているということは、家は不在（留守）の状態ということである。他府県ナンバーの車両や標準語を話すグループ等、怪しいと感じた場合はむやみに情報を提供しないよう注意したい。</p> <p>避難所の運営が順調になる3日目以降は、避難所で本当に困っている人はごく一部であり、大多数の方々は不安を解消するために滞在しているのが実情である。もちろん皆と一緒にいたいという気持ちは理解できるのだが、ライフラインが復旧して自宅に戻れる状態であれば、すぐにでも戻っていただいた方が自治体サイドとしては有難いし、住民にとってもその方が快適なはずだ。</p> <p>（3）防災・減災対策</p> <p>万一に備え、自宅周辺の災害リスクや避難場所、避難ルート、待ち合わせ場所等を家族で共有しておくことは極めて大切である。こうした準備をしっかりとおかないと、発災時のパニックになってしまう状況では落ち着いた行動ができないので、公助に勤しむ皆さんは、先ずは自身の家庭ありきである。</p> <p>行政には平等の原則があり、切迫した状況での臨機応変な対応は期待できない。そのため、自分たちで何とかして助け合うのが最良であり、地域の防災力は、コミュニティで高めることが必須である。そして訓練で成功しないことは本番で成功しない。</p> <p>町内会をはじめとする自主防災組織の設置や日頃の訓練を是非進めていただきたい。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
開催地より	<p>本日の講演をふまえ、職員研修や防災訓練等で職員としての心構え・意識の向上を目指したい。具体的には、地域での防災訓練時に聞かせていただいた体験談を共有するとともに、想定外の対応についてシミュレーションしていきたいと考えている。また、研修等で改めて自助の大切さを伝えていきたいと思う。</p>